

令和8年（2026年）

内外情勢の 回顧と展望

公安調査庁

Public Security Intelligence Agency

内外情勢の回顧と展望(令和8年版)の 発行に当たって

公安調査庁は、破壊活動防止法や無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律に基づいて、公共の安全の確保を図ることを任務としており、いわゆるオウム真理教に対する観察処分を適正かつ厳格に実施しているほか、我が国の情報コミュニティのコアメンバーとして、我が国の公共の安全に影響を及ぼし得る国内外の諸動向について情報を収集・分析し、これを政府関係機関に適時・適切に提供することで、政府の各種施策に貢献しております。

本資料「内外情勢の回顧と展望」は、おおむね1年間の公共の安全に関わる我が国内外の諸情勢を取りまとめ、毎年発行しているものです。

今回は、特集として、地下鉄サリン事件から30年を経過してもなお麻原彰晃こと松本智津夫の影響力が残るオウム真理教の現在について取り上げたほか、首脳が66年ぶりに一堂に会するなどして連携を誇示する中国、ロシア及び北朝鮮の関係について紹介しております。

我が国を取り巻く内外の情勢はますます複雑化しております。皆様がその全体像を把握し理解を深める一助として本資料を御活用いただければ幸いです。

「内外情勢の回顧と展望」（令和8年版）の発行に当たって	1
-----------------------------------	---

〈特 集〉

特集 1

地下鉄サリン事件から30年、 オウム真理教の現在

「Aleph」において麻原の二男が新たな「グル」へ 6

COLUMN » 1 「Aleph」における麻原の二男と麻原の妻の地位・役割	8
COLUMN » 2 「グル」という存在	9
COLUMN » 3 「イニシエーション」～麻原の頭髪等の使用法～	10
COLUMN » 4 「ひかりの輪」の実態 ～「三仏」をめぐる上祐派の欺まんの対応～	11

特集 2

「多極的な世界」に向けた
結束が演出された中露朝関係 12

〈内外情勢〉

経済安全保障と大量破壊兵器関連物資等をめぐる動向 20

COLUMN » 1 重要産業の国産化を見据えた中国の動向	25
COLUMN » 2 アカデミアにおける米中“デリスキング”	26
COLUMN » 3 退職者を狙った懸念主体による人材獲得動向	27
COLUMN » 4 バイオテクノロジーの戦略化と経済安全保障	29

サイバー空間をめぐる動向 30

- COLUMN » 1 あなたの家がサイバー攻撃の拠点に？：
家庭用ルーターが狙われる 34
- COLUMN » 2 最近のサイバー攻撃の特徴：
「ファイルレス攻撃」と認証情報の流出がもたらす新たな脅威 … 35
- COLUMN » 3 生成AIに潜むリスク：「データポイズニング」の脅威 36

【国外情勢】

1 北朝鮮・朝鮮総聯 37

- COLUMN » 1 存在感を増す金正恩総書記の娘（北朝鮮の報道ぶりの変化） 44
- COLUMN » 2 北朝鮮のリゾート開発 45

2 中国 46

- COLUMN » 1 「出勤装い会社」や「青年養老院」の流行と若者の就職難 49
- COLUMN » 2 台湾への浸透を図る中国の動向 55

3 ロシア 58

- COLUMN » 1 帰還兵がロシア社会にもたらし得るリスクと当局の対策 62
- COLUMN » 2 “伝統”への回帰を目指すロシアの少子化対策 63

4 国際テロ 64

- COLUMN » 1 パキスタンで外国権益をテロの標的とする
「バルチスタン解放軍」（BLA） 66
- COLUMN » 2 西アフリカの「アルカイダ」系組織による宣伝活動 69

【国内情勢】

1 オウム真理教 70

2 過激派 77

COLUMN 若年層の取り込みを企図する過激派 78

3 共産党 79

4 右翼団体等 80

COLUMN » 1 危険な精神を継承する右翼団体 81

COLUMN » 2 右翼運動のあらまし 82

情報発信 84

※ この令和8年版「内外情勢の回顧と展望」は、令和7年(2025年)における内外公安動向を回顧し、今後を展望したものです。なお、本文中、特に断りのない限り「○月」との表記は、令和7年(2025年)の当該月を指し、本文に記載した人物の肩書は当時のものとしています。

※ 出典元URLは、令和7年(2025年)11月末時点のものです。

※  は参照箇所を示しています。